アセスメント　心の理解

教材の特徴からのアセスメント

教材「心の理解」では、行動面に関する困難や特性を下記のような場合とし、課題に適した教材と支援、指導につながることを目的として作られました。

[困難な行動面]

・面と向かって話しかけられているのに、聞いていないように見える。
・過度にしゃべる。
・質問が終わらないうちに、出し抜けに答えてしまう。
・気が散りやすい。
・集団で行動するのをさけたり、順番を待つのが難しい。
・他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする。
・急にかんしゃくを起こすことがある。
・友だちと活動するのが苦手である。
・パニックや過度に緊張するときがある。
・含みのある言葉や嫌みを言われてもわからず、言葉どおりに受け止めてしまうことがある。
・会話の仕方が形式的で、抑揚なく話したり、間合いがとれなかったりすることがある。
・誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す。
・その時の場面や、相手の感情や立場を理解しない。
・周りの人が困惑するようなことも、配慮せず言ってしまう。
・仲のよい友人がいない。
・友だちと仲良くしたいという気持ちはあるけれども、友だち関係を上手く築けない。
・友だちのそばにいるが、一人で遊んでいる。
・意図的でなく、顔や体を動かすことがよくある。
・他の子どもたちから、いじめられることがある。
・独特な表情をしていることがある。
・やりとりを意識した会話が成立しない場合がある。

[教材]

・他人の表情や仕草、態度や行動から、どのような気持ちなのかを理解できる。
・何が起こっているのか、その現象はどうして起こったのか、これからどのようなことが起こると推測できるかを理解する。
・自分の気持ちが理解でき、どのようになったらどんな行動をとるのかを知り、コントロールができるようになる。
・状況を判断し、適した行動をとることができる。